

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	844 公民館管理経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
		目	05	公民館費
基本 施策	33 だれもが生きがいを持てる機会をつくる	細目	443	公民館管理経費
		細々目	01	公民館管理経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	451600		担当者 氏名
	名称	教育委員会 阿山公民館		
			中井日出男	連絡先 (内線)
			43 - 0154	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	阿山公民館(図書室を含む。)を利用する市民	※対象件数
成果(どうする)	阿山公民館の適正な維持管理及図書等の充実により、生涯学習活動の拠点としての機能を発揮し、公民館活動及びサークル活動など、施設利用者による生涯学習課学習が活発に行われる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市公民館条例	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H21 事業 内容	あやま文化センターの管理(光熱水費のみ)、図書室受付等業務委託、図書室を含む公民館の管理運営、図書・AV資料の購入、公民館の貸館に係る施設利用料の徴収	
社会情勢 の変化等	あやま文化センターは、阿山公民館・さんさんホール・図書室の複合施設になっており、平成18年度からホール・楽屋・リハーサル室は指定管理となり、平成20年度からセンター全体が指定管理となったが、光熱水費と電話料金は公民館管理経費で支出する。また、平成21年度からは、社会教育推進経費の事務経費分を公民館管理経費に編入する。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	財団法人伊賀市文化都市協会
3 規模・構造		2 配置人員	図書室 1人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	図書室 1,956 千円
		4 市内の 類似施設	各地区の公民館

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	図書室蔵書(AV資料を含む。)冊数	冊	目標 18500	目標 19000	19200	19500
			実績 18330	実績 18860		
	阿山公民館(図書室を除く。)延べ利用回数	回	目標 780	目標 780	700	750
			実績 735	実績 624		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	阿山公民館(図書室を除く。)延べ利用者数	利用満足度を指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用する。	人	目標 10000	目標 10000	10200	10500
				実績 11708	実績 10101		
	図書室の利用者数	利用満足度を指標とすべきであるが、把握が困難なため本指標を採用する。	人	目標 13000	目標 13000	9500	9600
				実績 9164	実績 9336		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	12,300	12,891	10,998	11,000				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	455	455	455	455				
一般財源	11,845	12,436	10,543	10,545				
事業投入人件費(B)	0.6人	4,320人	0.6人	4,320人	0.6人	4,320人	4,320人	
フルコスト(A)+(B)	16,820	17,211	15,318	15,320				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
必要性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	予算の繰越がある場合、繰越の種別	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	パソコン等の機器は、経年により修理を要するものが増えてきているが、生涯学習活動に支障を来さないよう、随時、使用状況の把握や点検修理を実施している。 また、空調機の温度調節や必要最低限の点灯などの節電対策について、指定管理者に徹底するよう、引き続き依頼している。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	平成12年度購入の古くなったパソコン室の機器20台について、教育委員会内で調整し城東中開校で使わなくなった旧桃青中と旧府中中の中古パソコン(XP対応)に入れ替えたことにより、利用者が快適に使用でき生涯学習活動に大きな成果をえた。また、空調機の温度調節や必要最低限の点灯などの節電対策やホールの換気について、指定管理者に徹底するよう依頼した。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	中井日出男
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	阿山地域の生涯学習活動の拠点施設として、各世代に応じた学習機会の提供や交流の場として、施設の適切な維持管理は必要不可欠である。
現時点における課題、その他	あやま文化センターは複合施設であり、指定管理の「さんさんホール(334席)・市の阿山公民館・図書室など」である。指定管理であるが水道光熱費・電話料は伊賀市で支払っている、大きな施設で電気料金の毎月基本料金が多額である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	電気料金の基本料金は年最大時の使用量を持って次年度の基本料金となるため、さんさんホールでのイベント時の空調機の温度調節や必要最低限の点灯などの節電対策について、極力指定管理者に徹底するよう、引き続き依頼する。